

---

# 組み分け帽子をあの人たちにかぶせてみた

池宮樹

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

組み分け帽子をあの人たちにかぶせてみた

### 【Nコード】

N9856Y

### 【作者名】

池宮樹

### 【あらすじ】

思いついたからやってしまったパート2。

若干後悔している。

**（前書き）**

やっちまったが後悔は……少ししている！

基本的な確認事項。

組み分け帽子とは？ ホグワーツに入学する時に、かぶせられる古びた帽子。ホグワーツ始祖の4人の魔法使いの魔法がかかっており、かぶった者にふさわしい寮を選んでくれる不思議な帽子。

グリフィンドール寮 勇気のある人が選ばれる寮。

ハッフルバフ寮 普通の人を選ばれる寮（正しくは勤勉で真面目な人）。

レイブンクロー寮 頭がいい人が選ばれる寮

スリザリン寮 純血な人が選ばれる寮（但しウスノロが多い）。

これらを踏まえた上で楽しみください。

ホグワーツの大広間にミネルバ・マクゴナガル教師と組み分け帽

子の声が止まることなく響き続ける。

だって呼ばれているのは……。

「獅子王 凱！」

「グリフィンドール！」

「天海 護！」

「グリフィンドール！」

「卯都木 命！」

「グリフィンドール！」

「大河 幸太郎！」

「グリフィンドール！」

「氷竜！」

「グリフィンドール！」

「炎竜！」

「グリフィンドール！」

組み分け帽子が彼らの体に触れた瞬間「グリフィンドール！」と叫び続ける。

その様子を見ながらニコニコと笑うアルバス・ダンブルドア校長。

「ほっほっ、今年はやけにグリフィンドールが多いのう！」

今年もホグワーツは平和だった。

（後書き）

そら、グリフィンドール一択だよね（笑）

だって大事なものは「勇気」だもの。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9856y/>

---

組み分け帽子をあの人たちにかぶせてみた

2011年11月29日20時49分発行